

## 成人式分科会におけるヒアリング結果 まとめ

## (1) 成人式の意義について

- ・ 人生の節目、通過儀礼としての役割
- ・ 日本の伝統的な和装文化に触れ、成年の自覚をもって社会に参画し、社会もそれを祝う
- ・ 周りの人に感謝し、新たな一步を踏み出す大切な一日
- ・ 成人に達した青年の門出を市民全体で祝い励まし、新成人の自覚と今後の社会的な社会参加を促す
- ・ 人生における節目。周囲に感謝し、大人として社会に踏み出すことを自覚するとともに、社会からもその門出を祝福する日
- ・ 人生の節目、大人になった自覚を促す機会、あらためて地域の人とふれあい、地元を意識する機会
- ・ 今まで庇護されてきた立場から、成人になるという意味を問いかけ、社会に対しての責任が発生することを自覚させる儀式

## (2) 成年年齢引下げ後の成人式の対象年齢について

## ア 対象年齢を20歳とすべきとの意見

- ・ 飲酒や喫煙などは20歳になるまで禁止されており、20歳が全てにおいて「大人」として扱われる年齢である。
- ・ 成人式の対象年齢を18歳として1月に成人式を実施した場合、多くの高校3年生は大学の受験期と重なり、成人式への出席が困難である。
- ・ 18歳では参加者の多くが大学受験や就職の準備等で時間的・精神的・経済的余裕がない時期であるが、20歳を対象とすれば参加者本人だけでなく家族も含めて落ち着いた環境で成人を祝うことができる。
- ・ 成人式の意義等を考えれば、高校在学中ではなく大学生・社会人になって自覚をもって社会に貢献できる20歳が望ましい。
- ・ 一度その地域を離れた人が成人式を機会に帰省し、同窓生と交流することがUターン就職のモチベーションとなり、地域の活性化につながる。
- ・ 成人式の対象年齢を18歳とすると、大学入学準備金の用意等で家計の負担が増える時期と成人式が重複することで、成人式用の晴れ着を準備することが困難になる。

- ・成人式の対象年齢を18歳とすると、成年年齢引下げ直後の成人式には、18歳から20歳までの新成人が参加することとなり、主催する自治体等が混乱する。

イ 対象年齢を18歳又は19歳とすべきとの意見

- ・成年年齢の引下げに伴い成年が18歳となったことから、成年となったことの自覚をできるだけ早く促すためにも、早い段階で成人式を挙行した方がよい。
- ・受験や就職を控える高校3年生にとって、18歳に達する年度に成人式を実施するのは適切ではないが、全員が18歳となった年度の翌年度に実施することで、その問題は解決することができる。
- ・成年年齢引下げ直後の成人式に18歳～20歳の新成人が参加することとなるため会場確保が困難という問題については、日程を複数回設けることで対処予定である。
- ・参加者に20才と19才が混在することがなくなり、20才未満の者による飲酒の問題が激減する。
- ・制服での参加等によって家庭の経済的負担が軽減する。